



令和4年2月15日

中部地方整備局四日市港湾事務所

四日市港管理組合

四日市港で新たなプロジェクトが始動

～四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業に着手～

国土交通省中部地方整備局四日市港湾事務所および四日市港管理組合は、令和3年度に新規事業化された四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナルの整備工事に着手しました。四日市港では、霞ヶ浦北ふ頭地区岸壁(W80)以来20年ぶりの海上における大型事業の着手となります。

四日市港霞ヶ浦地区では、コンテナ貨物の増加や船舶の大型化への対応、完成自動車やエネルギー関連貨物の増加に伴う南ふ頭の混雑解消が喫緊の課題となっています。

こうした課題を解決するため、既存コンテナターミナルに隣接して新たなコンテナターミナルを整備することで、効率的な港湾運営が期待されます。

工事着手にあたり着工式典の開催を予定しておりましたが、今般の新型コロナウイルス感染症拡大により見送りとなりました。そのため、本工事の着手にあたって別添のとおり地元関係者よりコメントをいただいております。

今後の事業の実施にあたっては、引き続き安全に留意して施工を進めてまいります。

【概要】

- 工事場所 : 四日市港霞ヶ浦北ふ頭（四日市市霞二丁目地先）
- 工事名 : 令和3年度 四日市港霞ヶ浦北ふ頭地区岸壁(-14m)地盤改良工事
- 工事内容 : 地盤改良、被覆石撤去

【資料】

- ・ 事業概要、期待される効果
- ・ 工事概要
- ・ 地元関係者から寄せられたコメント

【配布先】 中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、三重県政及び第二県政記者クラブ、四日市市政記者クラブ、港湾新聞社、港湾空港タイムス、海事プレス、日本海事新聞社、マリタイムデーリーニュース

【問合せ先】 国土交通省 中部地方整備局 四日市港湾事務所
総務課 不破（ふわ）、田中（たなか） TEL059-351-1357
四日市港管理組合 経営企画部
建設課 鈴木（すずむら）、川北（かわきた） TEL059-366-7036

別添

事業概要

四日市港霞ヶ浦地区では、コンテナ貨物の増加や船舶の大型化への対応、完成自動車やエネルギー関連貨物の増加に伴う南ふ頭の混雑解消が喫緊の課題となっている。

こうした課題を解決するため、既存コンテナターミナルに隣接して新たなコンテナターミナルを整備する。(2021年度(令和3年度)着手、2028年度(令和10年度)完成予定)



整備範囲

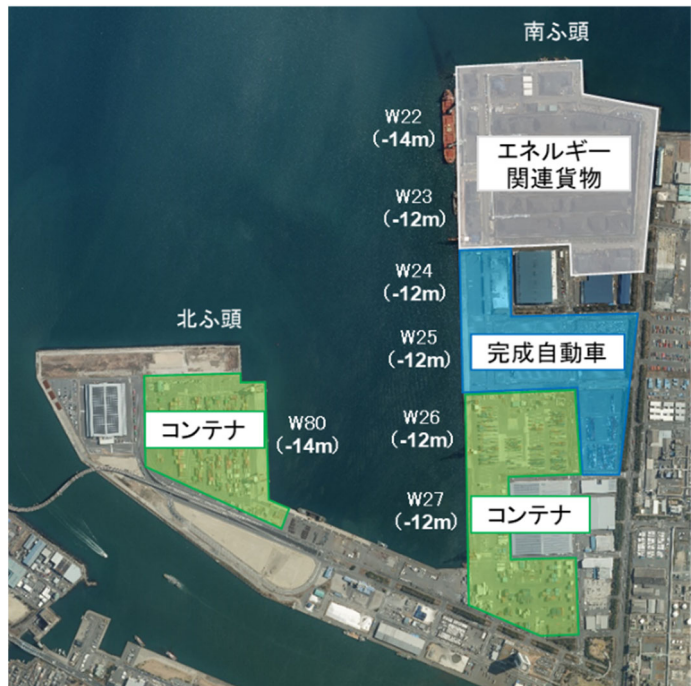


整備イメージ図

期待される効果

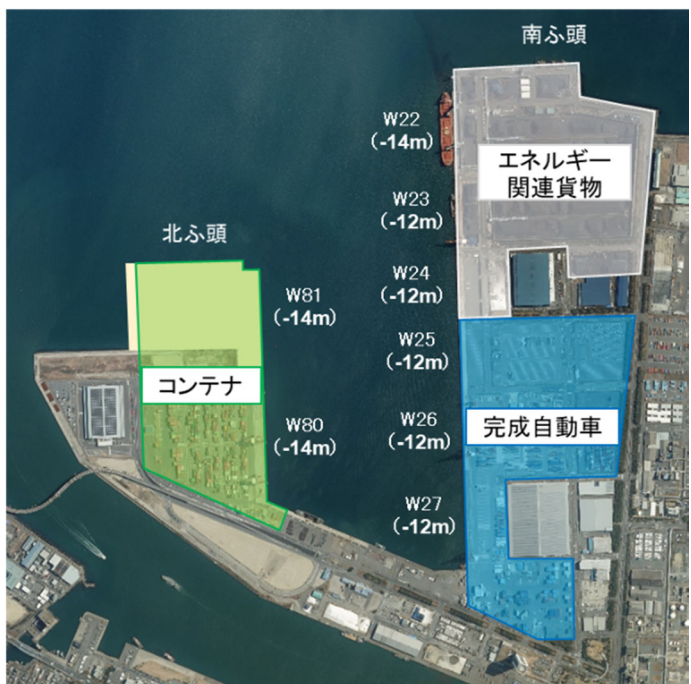
- ・大型のコンテナ船が着岸可能なバースが拡大。
- ・コンテナ機能の集約化を含むふ頭再編を実施することにより効率的な港湾運営が可能となり、自動車関連企業等の地域産業の競争力強化に貢献。
- ・災害時においても、今回整備される耐震強化岸壁を活用した海上輸送が可能となり、背後企業が事業を継続し、社会・経済活動を維持することが期待される。

【現状】



【ふ頭再編後】

北ふ頭にコンテナ機能を集約し、
完成自動車とエネルギー関連貨物
を取扱うバースを拡張

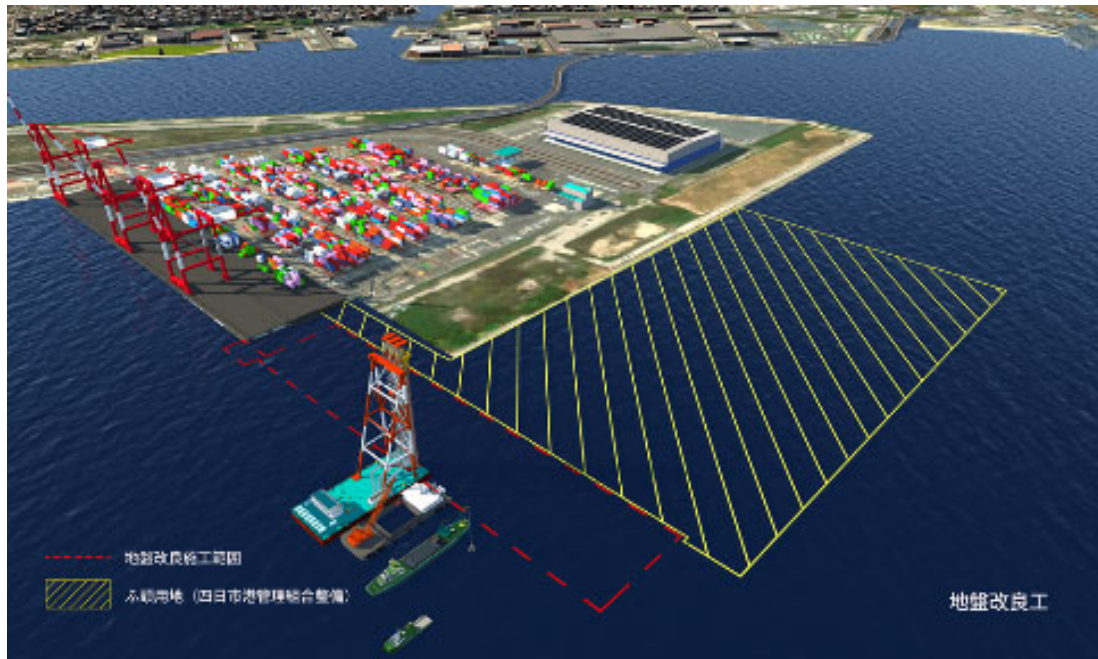


工事概要

既設岸壁端部の被覆石を事前に撤去したあと、サンドコンパクションパイル工法により海底地盤の地盤改良を行う。

サンドコンパクションパイル工法は、サンドコンパクション船を用いて締め固めた砂杭を海底地盤に造成することにより、地盤の強度増加を図る工法。

海底地盤の地盤改良は、既存コンテナターミナルに近い箇所から順次進める。



地盤改良の施工イメージ図



四日市港に入港したサンドコンパクション船

地元関係者から寄せられたコメント

○三重県知事 一見 勝之 氏(四日市港管理組合管理者)

今年度事業化された霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業について、地元選出国會議員や国土交通省をはじめ関係者の方々のご協力により、現地着工を迎えられたことに心より感謝申し上げます。

三重県のさらなる発展のためには、陸海の交通基盤の整備が欠かせません。東海環状自動車道の整備や、リニア中央新幹線の県内開業に向けた動きが進むなか、国際拠点港湾である四日市港に新たに耐震強化岸壁を備えたコンテナターミナルの完成に向けた第一歩が踏み出されることは、三重県民としても、三重県知事としても誇らしく、また嬉しく思っています。

本県としましては、東海環状自動車道が全線開通する令和8年度の暫定供用、令和10年度の全面供用に向けて、全力で取り組んでまいります。

○四日市市長 森 智広 氏(四日市港管理組合副管理者)

このたび、四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業が新規着工されたことに、地元市長として大変嬉しく思っております。

この事業による四日市港の機能強化が、全国有数の産業都市として日本のものづくりを支えてきた四日市市の更なる発展にもつながるものと、大いに期待しております。

今回の新規着工に際し、ご尽力いただきました国、関係国会議員の皆様、関係事業者の皆様には心より感謝申し上げます。

本市といたしましては、今後の円滑な事業進捗と早期整備に向けて、全力で支援して参ります。

○四日市商工会議所会頭 種橋 潤治 氏(四日市港霞ヶ浦地区北埠頭の整備を進める会会長)

四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業の新規着工を心よりお慶び申し上げます。

当国際物流ターミナルが整備されることは、東海環状自動車道など周辺インフラ整備に伴う取扱貨物量の増加やカーボンニュートラルへの対応、そして地域防災力の向上など、四日市港の更なる発展に寄与するものと大いに期待しております。

当会としては霞ヶ浦地区国際物流ターミナルが一日も早く完成するよう、引き続き整備促進活動に取り組んでまいります。